

「（仮称）子どもにやさしいまち条例」ヒアリングについて

※大人はパブリックコメントを活用することを想定し、
ヒアリングは子どもを対象としたものを多くすることを想定
※塗りつぶしされたセルは、第1回検討部会で出た意見

対象	場所	イベント・手法	備考
子ども	1 子どもセンター	若者が市長と語る会	
		グループワーク	
	2 冒険遊び場	グループワーク	
	3 大学	グループワーク	教育学部の学生
	4 高校	グループワーク	
	5 学童	グループワーク	
	6 さがまち学生Club	グループワーク	ヒアリングはできると思うが、子どもと関わる学生が少ない
	7 フリースクール	SNS	
	8 養護施設	SNS	
	9 児童養護施設	SNS	養護施設でシールを使った調査を行うことはできないか。
10 その他	SNS	直接、多様な子どもたちにヒアリングできない場合は、誰に代弁してもらっても考えていく必要がある。 学校に通えていない子どもや外国籍の子ども、性的マイノリティーの子ども、障がいの子どもなども網羅してヒアリングできると良い。	
大人	1 庁内会・自治会	グループワーク	
	2 生涯学習センター	グループワーク	
	3 その他	SNS	